

2023年11月17日

各位

株式会社北國フィナンシャルホールディングス

マルチクラウドによる次世代コアバンキングシステム開発開始のお知らせ

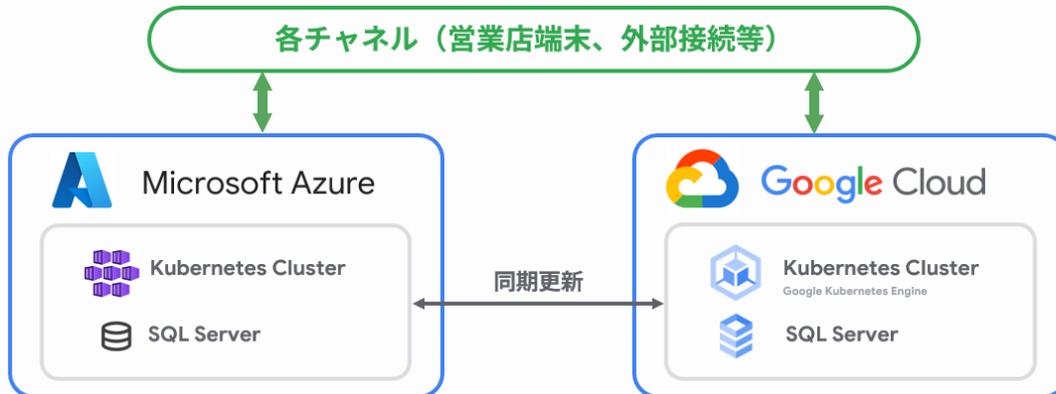
株式会社北國フィナンシャルホールディングス（本店：石川県金沢市、代表取締役社長：杖村修司 以下北國FHD）は、マルチクラウドによる次世代コアバンキングシステム（勘定系システム）の開発を開始したことをお知らせします。

【背景】

2023年1月、弊社はフルクラウド化による金融サービスを備えた次世代地域デジタルプラットフォームの構築を目指したプロジェクトの検討を開始しております。既に個人のインターネットバンキング（リリース済）、法人インターネットバンキング（2024年春リリース予定）の開発を着実に進めており、このたび、次世代地域デジタルプラットフォームの中核となる次世代コアバンキングの開発を開始することとなりました。より質の高い金融サービス実現と銀行経営の効率化を加速させるため、次世代コアバンキングシステムでは、マルチクラウド環境下での稼働を目指した開発を進めてまいります。

【マルチクラウドの強み】

金融システムにおいては可用性が非常に重視されており、複数のパブリッククラウド（Microsoft Azure・Google Cloud）を活用するマルチクラウド化により、可用性が飛躍的に高まることが期待できます。またクラウド障害時でも自社で稼働クラウドを切り替えることで短時間でのサービス再開が可能となります。



・柔軟性、信頼性

一方のクラウドサービスに障害が発生した場合、もう一方のクラウドサービスに切り替え、業務の継続性の確保が可能。また、ビジネスや環境の変化に応じて迅速にITリソースを増減させることが可能。

・コスト削減

必要な分だけITリソースを利用できるため、過剰な投資や保守費用の削減が可能。

・イノベーション

最新のテクノロジーやサービスを容易に導入でき、顧客ニーズに応える新しいサービスやビジネスモデルの創出が可能。

【次世代コアバンキングシステムの特徴】

最新技術の採用、Windows や Cobol から脱却し、真にクラウドネイティブなシステムに生まれ変わることによって生産性の飛躍的向上が期待でき、お客さまにより短期間でサービス提供が可能となります。コアバンキングシステム・インターネットバンキング、カードシステムなどの開発スキルを統一しフロントシステムからバックシステムまでワンチームでの開発が可能となり開発コストの低減にもつながります。

以 上